

# オンラインワン都市を目指そう！



三輪俊明 議員

**福祉部長**

平成22年度52件、平成23年度48件、平成24年度51件。

**質問**

企業誘致についての市長の考えは。

**市長**

できるだけ早く実現するよう取り組んでいきたい。優遇措置については議会と相談しながら考えていく。メリットとしてはインターも近くになり、名古屋からの立地条件はかなりのいいと考える。

**質問**

市役所周辺の道路および歩道整備計画はどのように進めるのか。

**経済建設部長**

総合庁舎建設工事を完了に合わせて施工していく。

**質問**

巡回バスについて、運行検討委員会に報告することになっているが、その後の進捗状況は。

**総務部長**

総合的に調整している。早い時期に検討委員会へ報告したい。

**質問**

「あいさい出前講座」の周知と見直しはどうか。

**総務部長**

実績を踏まえて、一工夫しながら周知を図っていく。

**質問**

愛知県唯一の分校がある福原地区の定住者増加対策はどうか。

**経済建設部長**

市街化調整区域であり、一定の条件を満たした方しか定住できない状況であり、増加対策は困難である。

**質問**

「人・農地プラン」におけるゾーニングの概略は。

**経済建設部長**

水稲とレンコンの区域を分ける。水田をまとめることにより事業効率を上げ、経費も安く済むことになる。認定農業者を中心に農地の集積を図っていききたい。

**質問**

子ども子育て支援事業として、3年以上当市に住む第3子以降の子どもに、15万円を支給する制度。その利用件数は。

**質問**

平成22年度における販売農家所得は約70%が30万円未満、約35%が50万円未満であり、総農家数は2千660戸まで減少しているのが現状。

農業支援、後継者対策はどのように行なわれているか。

**経済建設部長**

昨年度から「レンコン道場」を開設、1名が修行中。「人・農地プラン」新規就農者2名に新規就農助成金の交付を申請中。高齢などで農業ができなくなった方の農地は、経営体を集約を図っていききたい。

